

住んでみたい四絡
住んでよかった四絡



四絡コミュニティセンター

出雲市小山町650-21 TEL21-0369 FAX21-0370

E-mail:yotsugane-cc@local.city.izumo.shimane.jp

ホームページ公開中

四絡コミセン

検索



四絡の人口（令和7年7月末）

地区名	矢野	小山	大塚	姫原	渡橋	合計
世帯数	693 (-3)	2,081 (-10)	612 (+1)	833 (-1)	1,709 (-2)	5,928 (-15)
人口計	1,688 (+1)	4,438 (-16)	1,382 (+8)	1,896 (-1)	3,285 (+8)	12,689 (±0)

※()の数字は前月比 資料 出雲市

8月コミセン利用数 190件・総利用者数 6,783名



「ノーベル平和賞を受賞して」 本間恵美子さん（被団協代表理事）が講演

8月27日(水)、四絡地区社会福祉協議会（朝山一玄会長）は、地域住民90名参加のもと「四絡地区平和祈念式」を開催しました。戦後80年が経過した今もなお世界各地では紛争が絶えず、尊い人命が失われ続けています。式典ではそのような戦争で命を失った方々へ黙祷を捧げ、世界の平和を祈念しました。

講演会では、日本原水爆被害者団体協議会（被団協）代表理事を務める、本間恵美子さん（島根県原爆被害者協議会会長＝松江市在住）を講師に迎え、「ノーベル平和賞を受賞して」と題しておはなしいただきました。母親が入市被爆者の本間さんは、昨年6月、被爆2世として初めて被団協の代表理事に就任し、同年12月にノルウェーの首都オスロであったノーベル平和賞の授賞式に、代表団の一人として出席されました。講演会で本間さんは、原爆の実態やその悲惨さについて、「原爆は、人間として死ぬことも人間として生きていくことも許さない」と、いかにむごいものであるかを強調されました。また、ノーベル賞授賞式で、フリードネスさん（ノルウェー・ノーベル委員会委員長）が述べられた「被爆者たちの遺産を受け継いでいくのは、私たちすべての人間の責任だ」という言葉を紹介されました。本間さんは、戦争は仕掛けた側も返す側も両方不幸になるとし、核兵器や戦争をなくすため、「小さな声でもあげ続け、今一度皆が平和について考え、自分の得意なことを活かして平和につなげてほしい」と訴えられました。

参加したみなさんがあらためて平和への思いを強く持たれた講演会となりました。



四絡地区避難情報伝達訓練を実施

9月1日(月)、四絡地区災害対策委員会（山代裕始委員長）は、防災の日に合わせて、四絡地区防災訓練を実施しました。訓練は、災害対策本部招集訓練と情報伝達訓練に分れ、避難情報について各地区自治協会から各町内自治委員さんまでの連絡を行いました。平日の昼間であり、情報伝達が全て上手くいったわけではなく、今後の課題も見つかり、いざというときのために訓練の大切さをあらためて感じました。ご協力いただいた地域のみなさまに感謝申し上げます。ありがとうございました。



おはようサイクリング

おはようサイクリング実行委員会

8月
10日
日

浜山公園（雨天中止）

今夏3回目は、朝からあいにくの雨模様で予定していた浜山公園へ行くことができず、コミセンのホールでボッチャを行いました。20名ほどの参加でしたが、ボッチャを初めて体験した方も多く、とても楽しそうでした。

8月
17日
日

閉会式、坐禅会

最終日は、日蔵寺（小山町）へ出かけて、坐禅会を体験しました。普段あまりしない体験に、早朝から心洗われる気分だったと思います。閉会式では、参加者の表彰があり、朝早くから全て参加してくれた子どもたちに皆勤賞を贈りました。

その後、こども食堂で用意してもらった朝ごはんをみんなで一緒にいただきました。



8月
18日
月

なつやすみ学習会

社会福祉協議会

8月18日(月)～22日(金)の5日間、夏休み恒例となった「なつやすみ学習会」には、今年もたくさんの四絡小学校の児童が参加してくれました。毎日40名ずつ計200名の児童を10名の教員OB、大学生、高校生などが学習ボランティアとして子どもたちの勉強をみてくださいました。参加した児童は自分の夏休み課題のほか、自分で学習したいことを持ち寄り、意欲的に取り組んでいました。1年生から6年生までそれぞれ違う学年の友達と一緒に同じ部屋でする学習は、普段の学校と違う雰囲気でも楽しそうに学習していました。今年は4日目にこども食堂とコラボして、お昼にカレーを保護者の方と一緒にいただきました。総勢100名が一緒に会食し、子どもたちはとても喜んでいました。



こども食堂とコラボで事業を行いました

8月
17日
日

こども食堂をおはようサイクリングとコラボで実施しました。メニューはご飯、漬物、豆腐、さつま汁です。具だくさんの味噌汁に満足していただけたようです。お願いをしてくれなくても、片付けを積極的にする子どもたちの姿を見て、感動しました！

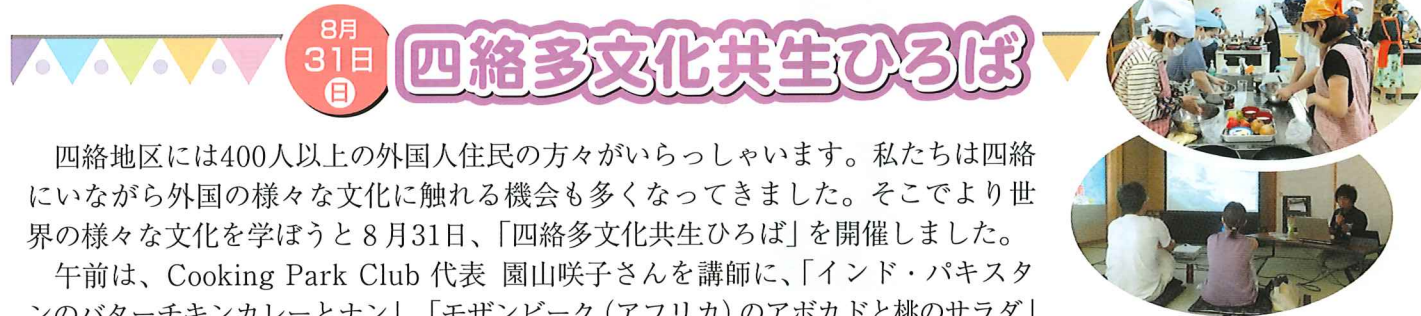
8月
21日
木

なつやすみ学習会とコラボで実施しました。地域の方からお米や野菜を寄付していただき、感謝の心をこめて、みんなで「いただきます！」夏野菜たっぷりのカレーはおかわり続出でした。幅広い世代の方と一緒にわいわいしながらご飯が食べられるのは、本当に楽しいと感じました。ご協力いただきました地域のみなさま、本当にありがとうございました。



8月8日 金 **エコな小物を作ろう!** 環境部

三中2年生18名と環境部員でエコ小物を作りました。牛乳パックを再利用し端切れを張り付けた小物入れと、チラシの紙綴りを束ねた肩たたきを作りました。中学生たちからは「地域の方々とお話ししながら楽しく作れた」「うまく作れたので妹にあげたい」などの感想が聞かれました。また中学生から環境部員に「普段困っていることは?」という質問も出ました。将来を担う世代として地域の課題を知ろうとするその姿勢に頼もしさを感じました。



8月31日 日 **四絡多文化共生ひろば**

四絡地区には400人以上の外国人住民の方々がいらっしゃいます。私たちは四絡にしながら外国の様々な文化に触れる機会も多くなってきました。そこでより世界の様々な文化を学ぼうと8月31日、「四絡多文化共生ひろば」を開催しました。

午前は、Cooking Park Club 代表 園山咲子さんを講師に、「インド・パキスタンのバターチキンカレーとナン」、「モザンビーク（アフリカ）のアボカドと桃のサラダ」をつくる料理教室を行いました。16人の参加者の皆さんが、日本式のカレーとは違うカレーづくりを体験し、また南アジアのスパイスが大航海時代には世界経済を大きく動かしていたことなどを学びました。カレー・ナンとサラダができた後は、楽しい試食タイム。参加者は異国に想いを馳せながら、思い思いに自分がつくった料理を楽しんでいました。

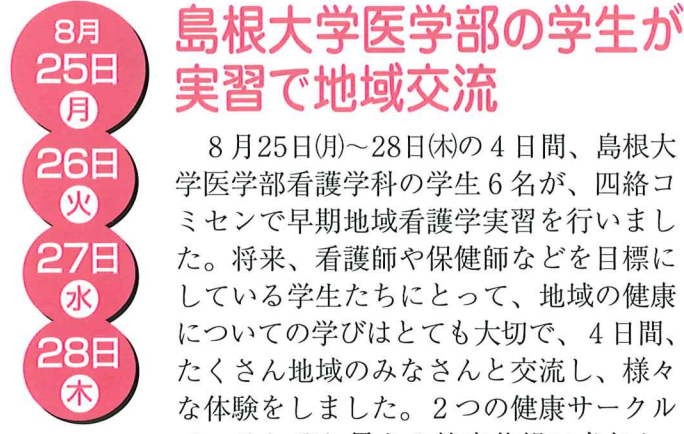


午後は、いずもTogether 代表の野津寛延さんを講師に、「アジアの旅 おはなし会」を行いました。中学校の社会科教諭でもある野津さんは、これまで世界数十か国を訪れ現地の人々の暮らしや教育状況などを学んだり、ボランティア活動などをされてきました。その中で今回のおはなし会では対象をアジア地域に絞り、参加者があたたかも旅行をしているかの様に、3つのルートをたどりながら色々な国の事情を紹介されました。韓国・中国など東アジアでの日本との共通点、エベレストを生で見た時の感動の他、東南アジアのかつての内戦や現在の学校の様子、またパキスタンなど南アジアの街並みや人々の生活についての紹介がありました。キルギス、ウズベキスタンなど中央アジアに関するお話では、気温が50℃まで上昇することやロシア語の影響、また西アジアでの宗教・信仰の様子や世界で一番低い場所にある湖（死海）での体験について、時折クイズを交えて分かりやすくお話をいただきました。質問タイムでは、参加者から日本語と外国語とのつながりや現地の通貨事情に関する質問、また最近日本で見られる外国人排斥主義的な風潮についての質問などが出ていました。講師の野津さんは、「色々な国の様子を聞いてまずは知ることが、異文化理解につながる。今日の様な旅のお話でも世界・外国への理解が深まり、それが平和につながる」と今回のお話の意義を強調していらっしゃいました。参加者からは「中央アジアに行ってみたくなった」という声が聞かれ、早速海外・異文化へのイメージが膨らんだ様でした。



8月7日 木 **自衛消防訓練**

今年度第1回目の自衛消防訓練を行いました。防火管理受託業者立ち会いのもと、センター利用者および職員で避難訓練、職員で消火訓練と通報訓練を行いました。日頃から訓練を重ねることにより、いざという時に迅速で的確な行動がとれると思います。次回は来年2月に訓練を予定しています。



8月25日(月)～28日(木)の4日間、島根大学医学部看護学科の学生6名が、四絡コミセンで早期地域看護学実習を行いました。将来、看護師や保健師などを目標にしている学生たちにとって、地域の健康についての学びはとても大切で、4日間、たくさん地域のみなさんと交流し、様々な体験をしました。2つの健康サークルで、それぞれ異なる健康体操に参加し、結構ハードな運動を高齢者の方がスムーズに取り組んでおられることに驚いていました。地域踏査では、四絡地区内の充実した健康福祉施設やそこで行われている活動を目の当たりにして、地域の人々から実際に感想を聞くことができ、とても良い学びの機会となりました。今回の研修を糧に学生たちが未来に羽ばたいていくことを期待しています。



10月25日(土)・26日(日)の両日(26日は午前中のみ)、四絡文化祭・農業祭を四絡コミセン会場で開催いたします。地域のみなさまの日頃の活動をサークル発表会や作品展示という形で披露していただきます。

25日は、農業祭と同時開催で美味しい食べ物屋台やイベントが盛りだくさんです。みなさまのご来場をおまちしています。

ご寄付のお礼

◆香典返し(令和7年8月1日～8月31日)()内は故人です。
◇小山 茅原上二 住田 裕志(捷兵)様

◆一般寄付
◇大塚 南五 板垣 一雄様

※ご厚志、誠にありがとうございました。
地域の社会福祉事業に有効活用させていただきます。

～四絡コミュニティセンターよりお願い～
当センター等が開催する事業や活動時に撮影した写真を広報誌・ホームページ等で使用させていただく場合があります。また、表彰者等のお知らせについては、出雲市からの情報に基づいて掲載しております。あらかじめご了承ください。

10月行事予定		
日付	曜日	内 容
1	水	●市センター長会 ●青パト1班 ●文化祭実行委員会
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	●環境保全理事会
6	月	●夏祭り実行委員会 ●コアラフリーデー 「親子でフラワーアレンジメント体験」
7	火	
8	水	●ポールウォーキング(健康福祉部)
9	木	
10	金	●花いっぱい(環境部)
11	土	●四絡地区一斉清掃活動
12	日	
13	月	スポーツの日 ●出雲駅伝
14	火	●北部コミュニティセンター おつみ会 ●四絡地区人同協正副会 ●青パト4班
15	水	●出雲三中職場体験(1日目) ●青パト3班
16	木	●出雲三中職場体験(2日目)
17	金	●出雲三中職場体験(最終日)
18	土	
19	日	●青少協デイキャンプ(わかあゆの里)
20	月	●自治協会正副部長会 ●子どもスクール(ピンポン、科学) 広報配達日
21	火	
22	水	●青パト2班
23	木	●北部コミュニティセンター チーフ会 ●出雲地域自治協視察研修(初日)
24	金	●文化祭準備 ●出雲地域自治協視察研修(最終日)
25	土	●四絡文化祭・農業祭(1日目)
26	日	●四絡文化祭・農業祭(2日目)
27	月	●子どもスクール(おやつでサイエンス)
28	火	●防災収納術(女性部)
29	水	
30	木	●北部コミュニティセンター センター長会
31	金	

次月の
広報配達日

10月20日(日) です